

地域政策協働センターの活動について

法学部准教授 今本 啓介

地域政策協働センター（Centre of Glocal Policy Network; GPNet）は、平成 25 年に設置されたコアステーションで、学生を地域に送り出すことにより、法学部での現場主義教育の一翼を担っています。

現在、新型コロナウイルスの影響により、現場に出ること自体が難しい状況ですので、活動を停止しておりますが、感染症対策を施した上で、徐々に活動を再開したいと考えております。再開した折には、これまで行ってきた村上市長津地区でのまちづくり活動、三条市の観光マップ作り、十日町市水沢地区での夏祭り参加等の活動や、新潟県選挙管理委員会が主宰する Niigata 選挙カレッジへの参加を通じて、教室では学べないことを学んでゆければと思っております。

特に、村上市・三条市での活動では、昨年度も同窓会からの助成をいただいていることで円滑に行うことができおり、この場を借りて御礼申し上げます。今後とも、活動にご理解いただき、ご支援のほどお願い申し上げます。